

今できることにチャレンジ!



ひきよせ

発行所
天理教夕張大教会
〒068-0029
北海道岩見沢市9条西6丁目
☎ 0126-22-1248
FAX 0126-23-7275
yubaridai146@gmail.com

ホームページ
bariten.main.jp

LINE 友達登録
お願いします

貴方への手紙 (319)

今できることがある!とお互い自分に言い聞かせ、流行病は必ず終ると信じて、楽しみに暮らしたいと思います。

「ライブひきよせ大会!」

去る9月20日は「ひきよせ大会YouTube生放送」が開催されました。今年も夕張部内限定の行事となりましたが、平成元年から続けて32回目でした。私が会長として開催する大会の最後です。今年は中止かな?という状況でしたが、私は今だからこぞできる新しいやり方があると思つて今年の実行委員長藤田豊君に相談しました。その結果、ネットを利用してYouTube生放送で開催しようということになりました。

「ひきよせ大会の始まり」

私は昭和62年6月、5代会長に任命されましたが翌63年には父前会長が身上になられ憩の家に、そして翌平成元年9月には岩見沢市立病院に転院。皆さま

お知らせ

11月15日 月次祭、新穀感謝祭 祭典後、秋季霊祭 ライブ配信します

教会長、昇殿参拝、11月、12月の確認と準備を。

「ひきよせ大会の目的」

ひきよせ大会の目的は①教会を社会に開きたい!②私たちの態度でにいがけをしたいという事です。また部内教会の知人や一般の人にも手伝ってもらつて親しみを広げることも願いました。これは余り言つたことがないのですが当時の社会情勢がありました。昭和の終わり1988年には、オウムの問題が始まりました。ひきよせ大会は翌平成元年の9月からです。平成元年11月には坂本弁護士一家の事件がありました。平成6年には地下鉄サリン事件です。宗教団体の中身が見えないならば市民の恐怖を煽りかねない。教会がブラックボックスになつてはダメだと思つたのでした。平成元年の第一回以来、欠かさず続けてきました(100周年、110周年、120周年記念祭も含む)。毎年必ず新しい実行委員長がリーダーとなって牽引してくれました。皆さまのご理解、ご協力があつたからこそ開催できたこと。心から感謝しています。

ひきよせ大会とは、大教会の月報の名前でもある「ひきよせ」から採つています。ひきよせ会とは戦前の若い布教師の集まりの名前でした。会員がおふでさきをパツと開くとひきよせの言葉が目飛び込んできて好助会長に相談した結果「ひきよせ会」の名前が採択されたと聞いています。

(6号の三十一)

昭和48年夕張が分教会から大教会に陞級した際、月報を発売することにになり父会長にお願いして「ひきよせ」を採用してもらいました。題字は父増平会長の書です。

の祈りの中にも重体となつていました。私を含め皆さんが暗くなりがちな時に少しでも勇んで元氣を出したいということでの9月15日月次祭の日に第一回ひきよせ大会を市民文化センターにて開始したのでした。父前会長は11月6日に出直されましたがきつと喜んでくれると信じてのことでした。

さて今回の内容は9月20日12時から13時の開催でした。内容は開会宣言、大教会長挨拶、抽選会、想い出の映像、世界一周、流行病収束祈願お願いと、後継者藤田大和挨拶（一期講師なのでおちばからの映像）最後に藤田豊実行委員長あいさつ。抽選会が予想以上に時間を要し、映像のトラブルも多少ありましたが大過なく終了しました。参加人数は大人514人、こども112人が抽選会に参加。少年会員用の抽選会もありました。

<http://barten.main.jp>

夕張大教会ホームページで大会のダイジェストが見られます。ひきよせ大会特設ページのボタンをクリックすると全体内容も見られます。

部内皆さまにはLINEや、FAXでの参加登録をしてもらいました。来年度活動につなげてもらいたいと願っています。

嬉しかったことは遠方の人たちが参加できて喜んでくれたことです。また若い人たちが楽しんで推進してくれたことです。

若い人の創意工夫はすごいです。集客用のビデオ作りに励んでくれました。景品を出してくれる部内教会を訪問して実にほのぼのとする動画を撮影。ホンワカしてとても面白く、徐々にネットやFAXでの大会参加者が増え、

最終的には大盛況に到りました。本当にありがたく感謝しています。

来年9月4日の6代会長就任奉告祭。その日も第33回目のひきよせ大会としての意味合いを込めて開催されることを願っています。今のようにコロナ禍でほとんどの行事が中止になる時期はなかなかしんどいものがありますが、やがて必ず終わると信じ、今回のYouTube生放送による大会にチャレンジしたことで若い人を始め喜びの声が聴けたことは本当にありがたかったと思います。

今、スマホやパソコンで見られるYouTube放送が盛んです。数えきれない程多くのお道の動画があふれています。

私も先日養徳社で録画して頂いたので、10月24日から「陽気チャンネル」でお話の動画が出る予定です。

ご覧になったらぜひ、チャンネル登録ボタンを押して下さい。



10月24日以降、チャンネル内で会長さんのお話が見られます。

九月月次祭の様

残暑の一言で片づけられない程の記録的な暑さが北海道を襲った、今年の9月上旬。それを通り越すと涼し気な風が吹くようになり、秋の訪れを感じるような気候になった。

9月も月例会議、各会の例会は中止。祭典準備と並行して、20日に迫ったひきよせ大会の配信の準備が行われていた。

15日は通常通り、9時半より開扉献饌、のち祭文奏上。続いて座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。換気・距離を保つての参拝・全員マスク着用と、コロナ対策もしっかりと身についている様子であった。講話に先立って、青年会の新委員会に辞令が交付され、代表して藤崎勇新委員長が大教会長より辞令を受け取った。



また先日出直された齊藤恵子・東苗穂前会長夫人の御霊に黙祷が捧げられた。



大教会長は講話にて「本日の祭典もオンライン配信をしております。なかなか参拝に来られない状況が続いていますが、この配信を見て参拝されている方もいらつしやるようです。

今年のひきよせ大会はオンライン配信になりました。出来る事は少ないかもしれませんが、若い人達が工夫して、色々考えてくれています。抽選会が行われたり、私も少し話をさせて頂こうと思います。スマートフォンやタブレット、パソコンで視聴する形での参加となります。是非、今年はご家庭でご参加いただきたいと思います。

去る8月27日、表統領先生から全教に向けてお話がありました。コロナ情勢下で各教会が厳しい状況の中、たすけ一条の心で通って頂きたい、との事です。私が安心したのは、多様性を認めてもらった事です。同じ事やれ、という事ではなく、それ

ぞれが思うおたすけの方法で、力を尽くして欲しいという事でした。各所各地域で、色んな取り組みがなされている事と思います。それはとても素晴らしい事で、そのまま続けて頂きたい。但し我々は教祖のよふべくであり、教祖からお教え頂いた『人様に助かってもらいたい』というたすけ一条の心が根本になければいけない。その事を忘れず、心ひとつに通って欲しいという事です。

来月の秋季大祭には、喜多秀和世話人先生にお越し頂き、祭典後にお話をして頂く予定です。スケジュールの都合上、いつもの祭典よりも三十分早めて勤めさせて頂こうと思います。ご理解ご協力の程、お願い致します。

また大祭終了後に来年9月に迫りました、6代会長就任奉告祭の実行委員会を発足させて頂きます。奉告祭は一日限りですが、それまでに至る準備や段取り、時間のかかる事も多いと思います。諸々の準備を実行委員会を中心に、進めていってほしいと思います。

かねてより提唱している大教会の活動方針『今できることがある！』ですが、皆さんに向けての言葉であると同時に、私自身への問いかけでもあります。時折、この言葉にプレッシャー

を感じる事もありません。現状、我々の出来る事は多くはありませんが、その中で一体自分に何が出来るのか、日々考えながら過ごしています。

世の中の動きが鈍っていたこんな時だからこそ、反対に落ち着いて自分の出来る事を見直し、じっくり取り組む時間が出来たと考えるようにしました。するとプレッシャーに感じる事は少なくなりましたように思います。

来年に控えた奉告祭の事を考える時、前真柱様が仰っていた事を思い返します。『駅伝でもリレーでも、たすきやバトンを渡す時は、渡す側受け取る側どちらにも、走りながらである。渡す側受け取る側どちらもが全速力で走る中でバトンの交換が出来ればスムーズであり、それが理想的である』そのように何度か仰っておられました。私も現在走っているつもりですし、奉告祭へ向けてこれからも走り続けていきたいと思えます」と話した。

ひきよせ大会YouTube 生放送！抽選会大好評

今年のひきよせ大会はコロナウィルスの影響により大教会を会場に多くの人を寄せて開催することは困難な為、大教会長様の提案からYouTubeを利用し

た生放送を企画しました。

夕張大教会公式のLINEアカウントを開設し、友達登録をしてもらい、8月始めから、教会の紹介を含めた抽選景品など活らせ動画、抽選会応募などで活用し、告知を進めてきました。

また、放送する内容についてリモートで企画会議を重ねました。老若男女、目の肥えたYouTube視聴者、インタナーネット利用の少ない人など幅広い人が観ることを想定し、アイデアを出し合い、毎度煮詰まりを繰り返しました。

大会放送の当日11時45分から準備放送を開始し、12時にスタート。大教会長様の挨拶の後、千葉真理氏（北弘）、藤崎勇氏（旭都）両名の軽妙な進行で抽選会が始まり、渡部辰大氏（善進道）、藤田亮平氏（幌都）が小人（こびと）となつて滑稽な身振り手振りのアクションで抽選券を引き当選者発表して盛り上げました。

集計報告は会長様の「貴方への手紙」の中にありますが、大人こども合わせて、抽選会エントリー1626名、当選39本。YouTube放送の最大同時視聴者数69名、視聴者合計（クリックして少しでも観た方）173名となりました。

たくさんのご応募とご協力、

ご視聴参加頂き、ありがとうございました。

また、長い準備期間、取材、編集、機材設置、材料集め等に携わって下さった皆様に感謝申し上げます。こちらの要望に添えて頂き、誠にありがとうございました。

実行委員長 藤田 豊



お家から大教会参拝！

直轄の信者さんで、天理にお住いの中井辰雄さんは遠いため、大教会には10年おきに記念祭に参拝していた。昨年、大病を患ったので少し気持ちも弱って、

来年の教会長の奉告祭にもどうか、と思っていました。

それが今回、リモートで参拝ができるを知って、早速娘さんにテレビ画面で大写しにしてもいい、奥さんと揃って9月20日の開会を待っていました。

毎月のひきよせ誌などで写真で見ると違って、大きな画面で、昨年屋根の葺き替えをした神殿もきれいに写り、にこやかな青年さん、大教会長さんもくつきり。

すっかり「リモートでの参拝もいいですね」と。(実)

オンラインで ひきよせ大会を楽しむ！

旭都分教会

「はい、いらつしやいませ！」と、かなり年かさの店員のおぼさん、ひきよせ大会で、元気な声を出して、地場産の野菜を売ったり、模擬店をするのを、楽しみにしていました。が今年リモートでの開催と知って、少し残念、がっかりしていました。そこで、ラインの登録を促して、一人でも多く、また、遠くでも参加できると、名簿を事務局に送っていました。そして、御霊祭を午前中にとめて先人の方々のご苦勞を偲んだ後、昼食を頂きながら、テレビの大きな画面で信者さん7名とワイワ

イト、大教会の配信映像を楽しみました。

会長さんのお話も終わり、抽選会に入って、登録が50名以上と分かって、それじゃあ、当たらないなあど弱音を吐く感じでしたが、いきなり子供の部で、駄菓子セットが当たり、続いて遠くばかり、神戸、天理、釧路、稚内の方が当たり、終わってみると、お酒にお肉、ラーメンにそばなど、主なものが当たりました。

その後、教会にお礼の電話を頂きましたが、「大教会からの声掛けに、素直に応えたいお陰ですよ！」とお伝えしました。大祭の中継も勧めましたよ。

一等当たりしました

抽選会子供の部112人の応募の中から一等商品「androidタブレット」を射止めたのは北張分教会の村国月音（つきの）ちゃん5歳。

最初から一番欲しいと言っていたタブレットが当たり大喜びでした。もうばつちり使いこなしていますとのこと。



訃報

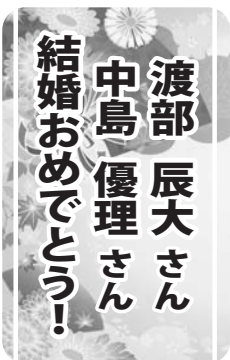
東苗穂分教会前会長夫人
齊藤 恵子様(享年74歳)



去る9月12日、病氣療養中だった東苗穂分教会の前会長夫人・齊藤恵子姉が出直された。享年74歳。姉は札幌市役所の職員だった

齊藤家の六男・孝雄氏と結婚。その後、母・ヒサノ姉が教会を設立(事情教会復興)。孝雄氏が後任会長となった。

信仰を全く知らない中、教会設立、普請、移転と続いて、たくさんの兄弟に支えられながら、いつも明るく楽しそうにご用をつとめていた。母ヒサノ、実家の両親も看取り、教会を大きく普請し、上級・南幌分教会の移転、整備にも尽くされた。姉の生前の大会へのご尽力に深く感謝申し上げます。哀悼の意を表します。



渡部 辰大さん
中島 優理さん
結婚おめでとう!

去る9月22日、善進道分教会の神殿にて渡部辰大さん(善進道分)と中島優理さん(祝梅分)が結婚いたしましたのでご紹介いたします。

新型コロナウイルスの影響を考え、披露宴の予定は未定ですが、当日は両大家族参列の元、婚礼の儀は予定通り執り行われました。その後の会食では、甥っ子姪っ子達によるパプリカダンス、花束贈呈があり、ビデオレターも届きました。又呼ばれてもいい



ない幼馴染みの教友が突如乱入サプライズ余興を披露。(社会的距離を保ち、余興後はそくさと退場。)終始温かい結婚式となりました。

月次祭の視聴方法、LINEの友達登録方法などは、ひきよせ先月号に詳しく掲載しております。←

LINE友達登録



月次祭配信ページ



小さい頃より少年会、青年会、女子青年、そして鼓笛隊スタッフと幅広く活躍されてきたお二人。末永く幸せに。
そしてこれからもよろしく。



庶務部 9月

- ▽おさづけの理拝戴
- 田端 智哉(祝梅) 9・9
- 眞鍋 拓也(梅淀) 9・13
- ▽修養科一期講師終了(949期)
- 藤田 大和(札美) 9・27
- ▽話所ひのきしん
- 阿部 恭子(直轄) 9・20

大教会目録抄 9月

- 1日 たすけ推進会議
- 青年会新割・除草
- 12日 東苗穂分教会前会長夫人、齊藤恵子様お出直し
- 14日 月次祭前日準備
- 15日 月次祭
- 18日 会長、札幌刑務所教誨師 ひきよせ大会準備
- 19日 会長夫妻、楢山様納骨
- 20日 ひきよせ大会準備
- 21日 第32回ひきよせ大会
- 24日 会長夫妻、兵庫・藤原宅その後おちばへ
- 24日 会長、本部神殿当番
- 25日 婦人会・布団整理
- 26日 本部月次祭、遥拝式
- 27日 祝梅分教会、客間庭整備
- 30日 ひのきしん
- 30日 会長、本部霊祭、かなめ会
- 30日 会長夫妻、帰会

編集後記

昨秋に急逝された信者さんの一年祭が十月に執り行われる。私と年の変わらない方で、大変なショックを受けた事を、昨日の事のように思い返す。訃報を聞いた時、とても悲しい、

寂しい気持ちになったと同時に、強い後悔の念が押し寄せた。生前、もっと連絡を取っておけばよかった、もっと話しておけばよかった、と。遠い所へ住まいしている事にかまけて、気にかかってはいても、何となく連絡する事が億劫になっていた。いくら後悔しても後の祭り、よふぼくとしての心配りの足りなさを痛感させられた。

現在、コロナ禍によって社会全体が変革を求められ、それまでの生活から離れて久しい。ウイルス感染のリスクを避ける為、三密を避けられ、社会的距離を保つ事を強いられている。今まで通りに顔を合わせたり、おつとめやひのきしんをする事も難しい状況と思う。

しかし、社会的距離を取り続ける事によって、心の距離まで離れてしまつてはいけないと考える。この未曾有の状況に甘んじて、声を掛ける事をためらつてはいないだろうか。自分自身に問い掛けるが、まだまだやり足りないと感じる。

私はその方の出直を通して、教会と信者の繋がりの前に、人々との繋がりをしっかりと持つ事が大切だと気付かされた。このコロナ禍の中、不安や心配を抱える人も多い。一人でも多くの人に声を掛け、しっかりと繋がりを保持していきたい。(い)